



第4次アクションプラン 全国の農業高校の新戦略 グローバル・アグリハイスクール宣言Part II			自校のスクールアクションプラン						
農業高校の ミッション (目指す学校像)	行動計画 (目指す学校像の具現化に向 けて)	キーワード (該当ワードを○で囲 む)	学科名	本年度重点取組	具体的方策(5W1H明記、数値目標奨励(年度末ABCDE評価の根拠))	SDGs 目標 NO.	評価 (ABC DE)	次年度の主な課題	
農業高校 グローバル アグリハイスク ール宣言 ○○○○○ 地地地地グ 域域域域口 防交環社 災流境会力 をのを・ル 推抛守産教 進点り業育 すと創にで るな造寄人 学るす与材 校学るすを 校学る育 校学て 校学る 学校	1	生徒一人ひとりを一層輝かせ成長させる教育	アグリハイ・顕彰、 進路実現、高大連携、 アウト学習、 STEM教育 イノベーション教育	全学科	農業に関する将来のスペシャリスト育成	農業の意義や役割の理解と「農業に関する将来のスペシャリスト」として必要な専門知識・技術を身につける。	4		
				全学科	3年間を通じた進路指導の検討と充実	チャレンジ委員会による国公立大学等の進学支援及び就職支援を充実させ、社会に参画する意欲と態度を身につける。	8、17		
	2	世界と日本をつなぐグローバル教育	グローバル教育、 国際交流	全学科	海外留学生の受け入れ	海外高校生との農業を通じた国際交流を行い、互いの文化について相互理解を図り、グローバルな考えを身につける。	10		
				全学科	英語による本校HPの充実	英語科と連携して生徒による農業科学習内容を英語で作成し、発信することで思考力・判断力・表現力を身につける。			
	3	地域農業の生産を支える教育	生物生産、特産物、 GAP、経営	生産技術科	地域連携八女茶栽培	近隣小学校、農家と連携した茶栽培を実施することで地域農業の理解と社会性を身につける。	11、 15		
				全学科	FGAPの取得	FGAP取得に向けた生産圃場を整備することで生産工程管理の知識と技術を身につける。	9		
	4	地域の農業関連産業や6次産業化に寄与する教育	地域貢献、6次産業 化、 食農教育、経営、 HACCP	食品開発科	6次化産業商品の開発	地元の企業と連携した商品開発を推進することで食品製造に係る実践的な思考力・判断力・表現力を育成する。	12、 17		
				生活科学科	地域貢献活動（食育分野）の推進	地域の施設を活用し、地元食材を使用した食育を推進することで課題を解決する、思考力・判断力・表現力を向上する。	3、11		
	5	地域環境を守り、創造する教育	環境創造、国土保全、 循環型農業、循環型社 会	システム園芸科	産業廃棄物の堆肥化	地域企業の産業廃棄物を堆肥化する研究を行い、循環型社会（農業）を考えさせる。	7、13、 15		
				全学科	学校演習林管理実習	森林組合と地元企業、同窓会と連携し実施する山林実習を通じた体験学習によって、環境保全の知識と技術を理解する。	7、11、 13、15		
	6	地域資源を活用し、地域振興の拠点となる教育	地域資源活用、特産物、 地域交流、食農教育	全学科	地域社会の発展と活性化に寄与できる教育活動	販売実習や地域の保育園及び小・中学生等の農業体験授業を積極的に行い、地域に根ざした農業教育の充実を図る。	3、 4、17		
				全学科	八女市民との協働によるまちづくり	八女市と連携し、年8回の農業体験イベントを通して地域農業の振興となる教育を推進することで自主的に協働し、解決を図る思考力・判断力・表現力を高める。	3、 11、 17		
	7	Society5.0の時代に 応じた教育	スマート農業、 ICTを用いた学習	全学科	タブレット端末の導入	タブレット端末の各種アプリを活用した授業を展開することで情報収集する力や情報活用する力を高める。	4、9		
				全学科	環境センサーの導入	環境センサーを活用したデータの収集・分析と作物栽培への応用を推進することで農業生産に係る思考力・判断力・表現力を高める。	4、9		
	8	地域防災を推進する教育	地域防災、多面的機能	全学科	ボランティア活動の推進	地域の清掃活動、こども食堂への食材提供とイベント参加を行うことで主体的に協働し、協働する力や課題を解決する力を高め、社会に参画する意識を高める。	1、2、 3、11		
				全学科	ワンヘルス教育の推進	ワンヘルス教育の実践校として先進的取り組みの実施や交流活動を通じた啓発及び教材開発に取り組むことで人と動物及び環境の健全な在り方を考え自主的に判断して行動する力を高める。	4、7、 11、13、 15		

※本プランは全国農業高等学校長協会「第4次アクションプラン」の規定により、各学校ホームページにて公表、年度末に福岡県教育委員会に報告します。また、福岡県農業教育研究大会誌にも毎年掲載(情報共有)します。

★作成・提出の流れ

①各学科は「行動計画1～8」のうち必ず1つ以上「本年度重点取組」「具体的方策」を記載する。②毎年度始めに「本年度重点取組」「具体的方策」を各学科全職員、次に農務部全職員で協議して作成し、4月30日までに校長会第1研究委員会事務担当者に提出及び各校のHPに掲載する。③毎年度末に「評価」「次年度の主な課題」を各学科全職員、次に農務部全職員で協議して作成し、2月10日までに校長会第1研究委員会事務担当者に提出及び各校のHPに掲載する。④令和8年10月から本取組についての検証を行い総括する。

★「評価ABCDE」の基準：A 90～100%の成果を得られた B 70～89%の成果を得られた C 40～69%の成果を得られた D 10～39%の成果を得られた E 0～9%の成果を得られた